girl scouts

ガールスカウトやまなし

No.7　2017年3月

連盟長挨拶

（一社）ガールスカウト山梨県連盟　連盟長　　青木れい子

「はじめまして」「ありがとう」「頑張って」この短い言葉の中に、ときめき・優しさ・勇気を、お互い改めて感じながら、県連盟 2016 年新体制がスタートしました。浅学非才な私は、理事・監事はじめ、多くの皆様方に支えられて、9 か月が過ぎ、新しい年を迎える事が出来ました。改めて感謝申し上げます。

2020 年東京オリンピック年は、奇しくも日本でのガールスカウト運動が、一歩踏み始めて、100 年目を迎える年でもあります。私たちは、「少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指し、リーダーシップを発揮できる人材を育成するとともに、社会に変化をもたらすチェンジエージェントとして行動します」を活動の基本方針に進めています。一人一人が活動の中で得る様々な事はどんな力を育くみ・培われるのでしょうか。積極的に人と関わる力・仲間と成し遂げる力・様々な新たな事に挑戦しようとする力となり、より確かな強い力として社会変化をもたらすに違いありません。「チェンジエージェント　ガールスカウト」。既成概念にとらわれず柔軟な発想で、様々な事に取り組んでいきたいと思います。

理事、監事の皆さん

キーワードは、「わたしが変われば、未来は変わる」。この言葉をかみしめて行動していきたいと思います。変わる事への勇気、挑戦、力強さ、楽しさは、宮崎駿さんの「もののけ姫」のラストシーンを連想します。枝の先から木の根から、切り株から萌え出す新芽（ひこばえ）と同様、団・連盟・地域に繋がる力強さと更に躍動的な活動をもたすと信じ、精一杯努力する決意です。

日本連盟　都道府県連盟訪問事業を終えて

1 月 28 日・29 日、日本連盟都道府県連盟訪問事業が開催され、花岡美智子国際コミッショナー、葛西満里子理事が山梨県連盟にお越し下さいました。

28 日は懇談会が行われ、山梨県連盟の現状と課題について、また他都道府県連盟の活動をお聞きしながら、会員増強に向けて、県連盟の活動と取り組みについて意見交換がなされました。日本連盟の方とお話ができる貴重な機会であり、有意義な懇談会となりました。

翌日の指導者研修会では、ガールスカウト 100 年の歴史を振り返り、ガールスカウト活動の意義などについて講義していただくと共に、参加者自身のガールスカウト活動の成果を再発見する機会にもなりました。

特に「ガールスカウトは資本家である～経験資本と人間関係資本」「ガールスカウトには社会人基礎力と呼ばれる、アクション、シンキング、チームワークの３つことを常にそなえている」という二つが強く印象に残りました。

懇談会、研修会を通して、さらにガールスカウト活動のすばらしさを知ると共に、会員減少などガールスカウトが置かれた厳しい現状を改めて実感しました。

日本連盟が 100 周年を迎える 2020 年に向けて、今まで培ってきたガールスカウトの力を増やし、様々な場所でその力を発揮し、社会を変えていく力となっていく・・これからの社会におけるガールスカウト活動の役割を改めて意識し、充実した実り多い二日間となりました。

（担当理事・藤田茂美、高松智子）

スカウトのつどい　テンダーフット・ブラウニー体験集会

日　時：10 月 30 日（日）10 時～15 時
場　所：山梨県森林公園　金川の森　どんぐりの森
参加者：合計　241 名
　　全部門スカウト　　121 名
　　成人　　62 名
　　体験参加者　　58 名

テーマ：スカウト Go!　～未来のわたしはどんなひと？～

各団の職業体験ブース

1 団　マジシャン	2 団　カフェ	3 団　名刺屋さん（私の名刺を作ろう）
4 団　森のピザ屋さん	6 団　電気屋さんぴかぴか	9 団　アナウンサー（ニュースを伝えよう）
10 団　介護士体験（ヘルパー）	12 団　トリマー	15 団　あこがれのネイリストになろう
19 団　ヘアーサロンあみあみ～三つ編みでつなガール～		かたくりの会　カフェ

「あー　良かった！雨じゃない。出来るー！」10 月 30 日の朝です。

今回の「スカウトのつどい」は、各団の職業体験ブースをスカウトが体験し、未来の自分を考える企画でした。どんなブースが各団から提案されるのか、実行委員のリーダー達はワクワク。開会式にはリーダー達が色々な職業の衣装を着たおばけになりスタンツ。その後、いよいよブース巡りの始まりです。スカウト達は所属団のブースを担当したり、スタンプカードを下げてあちこちのブースを走り廻ったりと本当に楽しそう。

・数字カードを使って誕生日をズバリ当てたり、本の読み聞かせをした 1 団のマジシャンと司書体験
・忘れないようにオーダーを取り、手製のクッキーやお茶・ジュースでおもてなしをした 2 団のカフェ
・マスキングテープやかわいいシールを使い、誰に渡そうか考えながら作成した 3 団の名刺屋さん
・糸電話で注文を受け、どんぐりや木の実を使ってピザを作り、配達まで行った 4 団のピザ屋さん
・乾電池を直列につなぎ電池について学び、停電になっても大丈夫だと分かった 6 団の電気屋さん
・会場の様子をリポートしたり、天気予報を読み上げたり。女子アナ気分になった 9 団のアナウンサー
・車椅子を押す体験や食事介助体験を通して、体の不自由な方々を理解した 10 団の介護士さん
・犬のトリミングやお世話を通して、動物への思いやりの気持と命の大切さを学んだ 12 団のトリマー
・大人になったらこんなキラキラネイルをして、素敵な女性になろうと思った 15 団のネイリスト
・カリスマ美容師に習って三つ編みを体験。それをつなげ 100 万人につなガール！19 団のヘアーサロン
・リーダー達が手作りクッキーをいただき、ほっと一息ついたかたくりの会のカフェ

さすが、ガールスカウト！どの団のブースもアイデアと工夫に富んでいるものばかりでした。閉会式前には、今日作った名刺を全員で交換して仲間作り。その後、閉会式に再登場したおばけのリーダー達の目の前には、朝よりずっと自信と将来への希望にあふれた笑顔のスカウト達がいました。そして、スカウトのつどいは、固い絆で結ばれた友情の輪で終了となりました。

テンダーフット・ブラウニー体験集会について

スカウトのつどいと同時にテンダーフット・ブラウニー体験集会が開催され、下は３歳から多くの子どもたちが参加してくれました。パトロールに分かれ、ブース巡りをしました。小さな子には少し難しいかなというブースも、　パトロールのみんなと協力して、とても楽しそうでした。このような体験集会を通して、ガールスカウトの活動や楽しさを知ってもらい、新しい仲間へとつながっていければと思いました。

運営本部委員会担当理事　藤田茂美

（『スカウトのつどい』実行委員長　水口晴美）

団活動報告

１ 団

ガールスカウトの日
地域への感謝をこめて芸術の小径の
清掃をしました。

２ 団

夏キャンプ　～西湖～
３日間　元気いっぱい楽しみました。

３ 団

「昔のあそび　大集合」
羽根つきでは羽根を落とすと、顔に
〇や×をフェイスペインティング

４ 団

「フードドライブ」に協力しました。
持ち寄っていただいた食品を受け取
り、仕分けしました。いつも元気！

６ 団

バードコール作り＆カワセミの観察
明見湖公園にて
「できたよ！バードコール！」
「カワセミがみえるかな？」

９ 団

団キャンプ
甘利山山頂からご来光と共に
私たちの韮崎市を見下ろしました。

１０ 団

デイキャンプ～道しるべハイク
木の太さを知恵を使って測りました。
スカウトの集いに参加～車イス体験

１２ 団

沖縄 12 団との交流そして沖縄観光
「沖縄、山梨　12 団　ガールスカウトって
つながっているなぁ　実感！」
「世界にひとつの私のシーサー」

１３ 団

リーダーだけの登録団ですが、
スキャップ活動などを楽しんでおります。

１５ 団

「秋を見つけよう」
近くの神社へ行き、お参りしました。

１７ 団

夏のキャンプは四尾連湖にて。
マッチで上手に火を付けてカンガルー
トーストを作ったり、先生にカヤック
を教わって、楽しく過ごしました。

１８ 団

少人数ですが、がんばっています。

１９ 団

ボストンのガールガイドと
デイキャンプで交流しました。
初めて会ったのにすぐにお友達に！

愛宕山こどもフェスティバル

5 月 5 日山梨県立愛宕山こどもの国で開催されている『愛宕山こどもフェスティバル』にスカウト 66 名、リーダー22 名、成人 15 名、体験者 1 名の 104 名が参加しました。自由広場にて“環境への取り組み”をテーマに各団が工夫を凝らし、ジャンボジグソーパズルを楽しむコーナーやホイッスルやサクランボなどのクラフトづくりのブース等を設けました。天気にも恵まれ、たくさんのアイデアがあふれたゲームやクラフトづくりで会場は元気な笑い声に包まれました。

愛宕山こどもフェスティルは毎年 5 月の連休に行われることもあり、たくさんのお友達と出会うことができます。小さなお子さんにはスカウトが優しく声をかけ、一緒にクラフトづくりやゲームを楽しみました。また今回はクラフトの参加費を 4 月に起きた熊本大震災の募金とさせていただきました。被災された皆さんが 1 日も早く日常を取り戻すことができますように・・・。

（担当リーダー・19 団　石原美里）

ヤング街頭キャンペーン『ダメ。ゼッタイ。』普及活動

6 月 25 日（土曜日）　県内 11 ヵ所でヤング街頭キャンペーン『ダメ。ゼッタイ。』普及活動が行われました。

県連盟でもスカウトたちが都留市、富士河口湖町、北杜市、甲府市他、各地域で行われるヤング街頭キャンペーンに参加しました。

甲府市では担当団が中心となり、甲府駅前で薬物乱用防止を訴えました。甲府駅周辺会場では、駿台甲府高校、甲府工業高校、甲府西高校、甲府市薬剤師会の皆さんが一緒に活動しましたが、甲府西高校生の中に 2 団のレンジャースカウトを発見。自分の属するコミュニティでも積極的に活動していることが分かった一日でした。

（担当リーダー･4 団　玉島恵子）

関東海っ娘塾

夏休みに入ってすぐの、7 月 24 日、25 日に『関東海っ娘塾』が神奈川県で開催されました。海に関する様々なことをたくさん学べる機会となりました。

三菱みなとみらい技術館、日本郵船歴史博物館、氷川丸、マリンシャトル見学等、海の無い山梨では経験出来ないような、たくさんの場所に行きました。その中でも三菱みなとみらい技術館では宇宙の中にいるような体験であったり、バスの運転をし、人と地球に優しい交通・輸送の技術の体験をしたりすることができました。マリンシャトルでは、群馬県のスカウトと名刺交換をし、交流を深めることができました。恥ずかしがって声をかけられないスカウトも、みんなが名刺交換をするうちに話しかけることができ、いつの間にかたくさん名刺交換をしていました。

参加したスカウト、リーダー共、多くの体験、交流ができ、本当に良かったと思います。初めは挨拶があまり聞こえないスカウトがいましたが、帰る頃になるとみんながしっかりと挨拶できるスカウトになっていました。

（引率リーダー・15 団　坂本留海）

県リーダースクラブ

県リーダースクラブ後期事業が 10 月 23 日（日）に、21 名のリーダーが参加の下、湧水の里・都留市にて開催されました。湧水の里にまつわる話を聞き問題を解きながら 20m落差のある太郎・次郎滝を見学。その後、９月初旬までしか咲かない愛らしい梅花藻を見ることができました。宝鏡寺においては、住職のお母さまである佐藤秀子リーダーの話を聞き、五百羅漢を見学。都留市と松尾芭蕉との関わりも勉強。また、集会に役立つようにとイタリアンレストランを経営している佐山夫婦より生パスタの特徴を教えて頂き、実際に生パスタ作りに挑戦。生パスタ作りをしているリーダー達の顔は生き生きとしていて楽しそうに見えました。早速、集会に取り入れてくれた団もありました。皆で作った生パスタを食べ、語らい、リーダー間の交流を深めることができた一日でした。

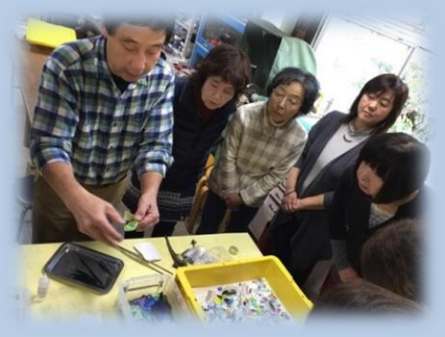
（担当リーダー・10 団　佐藤ひとみ）

国中リーダースクラブ

10 月 22（土）『秋の歴史文化散策～甲州編～』と題して、国中リーダースクラブが実施されました。“甲州のお寺を散策し、歴史に触れる。秋を散策することによって、五感を磨き、スカウト活動に活かしていく”ことを目的として、甲州市内の恵林寺、放光寺を訪れました。恵林寺では、地域観光ボランティアを務めている、12 団の橋爪芳美リーダーの案内で快川国師の有名な言葉にまつわる門、庭園を眺め、武田家についてのわかりやすい解説を聞きながら、歴史を再確認することができました。放光寺までの道沿いには葡萄に柿と、甲州ならではの季節の移り変わりの光景を目にすることができました。花の寺としても親しまれている放光寺では、長老の清雲俊元氏よりお話を伺い、重要文化財である、金剛界大日如来坐像、木造不動明王立像などを拝観しました。その後、味覚の完熟屋に移動し振り返りを行い、五感の気づきの発表もあり、有意義な時間を過ごすことができました。

（担当リーダー・12 団　田辺清子）

郡内リーダースクラブ



11 月 6 日　澄み渡った秋晴れの日曜日、大月市真木町にて『ガラスペンダント・ブローチ作り体験と石窯ピザ作り』と題した郡内リーダースクラブを開催しました。白石ガラス工房では完成した作品を想像しながら色とりどりのガラス片を組み合わせたガラス細工体験。ギャラリー民では“地元で収穫した野菜”を沢山のせて焼いた石窯ピザと野菜サラダでおいしい昼食会。その後、車で 30 分程移動し、五百円札裏の富士山の撮影地“雁ヶ腹摺山登山口”付近の散策を楽しみました。笑顔あふれた中での会話と体験教室はとても充実した一日となりました。

（担当リーダー・15 団　天野利枝）

南関東地区 Sr.Rr.交流事業指導者研修会

10 月 9～10 日　川崎市青少年の家で“チェンジエージェントを育成するために”のテーマのもと行われました。同時進行で『おとなスカウトのつどい』に参加したスカウト達と、神奈川県ユニセフ協会のネパールカトマンズ出身のマニタさんの基調講演を聞き、その体験や活動から気づく事が多くありました。変える事は自分を変えていく事と知り、私達が新たな目標を見つけるきっかけになりました。指導者は研修室に場所を移し基調講演、DVD からの取り組み・役割は何かと考えパトロールで話し合いました。翌日は、担当部門ごとに指導支援の仕方を考えるプログラム作りとなりました。初めて県外の研修に参加し、スカウトと同じ視点から解決策を見出し共有する事が出来ました。又、他県のリーダーとの交流はとてもよい刺激となった 2 日間でした。

（指導者研修会参加リーダー・10 団 新藤 操）

輝くガールスカウト OG

杉田聖子さん（2 団リーダー）

小学3年生の時に父に勧められて始めたガールスカウト、もうそろそろ 20 年です。私は今、医師として働いています。人に役立つことをしたいと思い、医師を志しました。幼い頃から続けていたガールスカウト活動のなかで芽生えてきた気持ちです。現在の医療はチーム医療です。それぞれの役割を果たしながら協力することで、患者さんにとって何が一番いい方法かを考えています。大切なことは自分で考え行動すること、仲間を大切にすること。忘れてはいけないのは、一人ではできないこともみんなで協力すれば成し遂げられることです。それらは私がガールスカウト活動のなかで教えてもらったことです。

そして、今の私を支えてくれているのはガールスカウトで苦楽を共にした仲間たちです。自分が自分らしく過ごせるのも、そんな仲間のおかげだと思っています。皆さんも素敵な一生ものの仲間を作ってください。ガールスカウト活動で得たものは私の人生の宝物です。

塚原史枝さん（19 団リーダー）

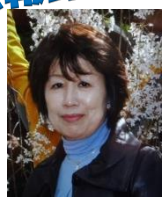
ガールスカウトへ小学 3 年生の時に入りました。その後、細々と続け今はリーダーとして活動しています。ガールスカウト活動で今も役立っている事は、「考え方」です。日々の生活の中で世界に目を向ける事がガールスカウトでは多々あり、それが習慣づき就職後に海外で生活し自分の実力を試してみたいという気持ちになりました。

オーストラリアで 2 年間生活し介護士として老人ホームで働きました。また、レストランでバーテンダーとしても働き、濃厚な日々を過ごしました。そんな生活の中で、日本や山梨の素晴らしさに気づき帰国を決断しました。看護師をしながら通訳として働ける場所はないかと考え、今の職場である山梨県立中央病院へ就職しました。私にとって今はゴールではなく、まだまだ果たしたい夢があります。私も夢に向かって頑張っていくので、皆さんも自分らしく楽しく生きてみて下さい。

新事務局です！

皆様こんにちは。2016 年 4 月より山梨県連盟事務局にてお世話になっております、藤田まやと申します。約 30 年前、第4団のジュニアスカウトとしてガールスカウト活動を始めました。以来受験、進学や就職、結婚による引っ越し、海外駐在帯同など、様々な出来事がありましたが、スカウト活動を辞めようと思うことなく過ぎました。現在はベリーダンス講師としてインストラクター業をする傍ら、週 2 回事務局にてお仕事をさせていただいております。スカウト活動は女性の活躍が求められる現代社会においての重要なスキルを身に着けることが出来る非常に有益なものと思います。これからも皆様とともに、「一生スカウト」として歩んでまいりたいと思います。どうぞお気軽に事務局に遊びにいらしてくださいね。

広報部員紹介！



このメンバーで楽しく広報作りをしています(*^_^*)

＜ガールスカウト山梨県連盟＞

〒400－0811　甲府市川田町517
山梨県立青少年センター内

TEL・Fax　055-228-6637
E-mail：gs-ymnsi@eps1.comlink.ne.jp
（火・木　PM1:30～4:30　但し、月、祭日の翌日は休業）